

## SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

(2016年3月31日現在)

### 株式状況

発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	11,960,000株
株主数	7,795名

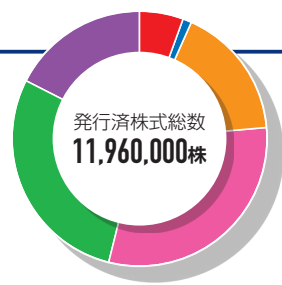
### 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,755,760	48.18
BNYM TREATY DTT 10	570,970	5.78
MSCO CUSTOMER SECURITIES	491,200	4.97
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	208,516	2.11
吉本興業株式会社	206,870	2.09
DEUTSCHE BANK AG LONDON-PB NON-TREATY CLIENTS 613	171,840	1.74
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	137,194	1.39
三菱UFJ信託銀行株式会社	135,000	1.36
CBNY-NATIONAL FINANCIAL SERVICES LLC	116,200	1.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	111,000	1.12

※当社は自己株式(2,090,390株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 ※持株比率は自己株式を控除して計算しています。  
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

### 所有者別分布状況(%)

	構成比
■ 金融機関	5.73
■ 証券会社	1.03
■ 外国法人等	17.03
■ その他法人	30.30
■ 個人・その他	28.43
■ 自己名義株式	17.48



※発行済株式総数11,960,000株の構成比率です。  
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

### 同連絡先

電子公告	http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
------	--

### 公告方法

### お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

### 免責事項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。  
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



## 株式会社フェイス

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル  
<http://www.faith.co.jp/>  
 お問い合わせ先 TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833



### ウェブサイトのご案内

フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。

<http://www.faith.co.jp/>



### facebookフェイス公式ページのご案内

フェイス・グループのニュースリリース、最新コンテンツ情報などを随時更新しています。

<http://www.facebook.com/faith.jp/>



## Annual Report

2015.4.1 - 2016.3.31

株式会社フェイス | 第24期 営業のご報告

トップメッセージ

# 既存の業界概念から新たな領域へ—— アライアンスによる 新たな価値を提案し新市場を創出する

## 業界を超えた協業・融合が 新たな価値を創出し始めている

音楽業界は100年に1度とも言える大きな変革期を迎える中、あらゆる業界の括りを超えて様々な要素が融合され、新たな価値を生み始めており、すでに当社グループを取り巻く事業環境は、いわゆる音楽市場の動向だけでは語れない段階に突入しました。

あえて国内における音楽業界という括りで見れば、グループ会社の日本コロムビアの業績は非常に好調でしたが、長期的に見るとマーケットの縮小トレンドを否定できません。

一方で、ライブやグッズを含め、アーティスト自身に価値を見出す取り組みは成長機会を創出し続けています。また、レコード会社を通さず、アーティスト自らが音楽を発信できるようになったことで、様々な要素を有機的にミックスした新たなプロモーションの形が次々と誕生して

きました。当社もコンサートなどのイベントで複数のユーザーが様々な角度から撮影した動画を配信するマルチカメラ・ライブ動画サービス「VIDEO Clipper」を新たにリリースしましたが、非常に好評を博しています。近年、イベントでのカメラの持ち込みが緩和されていますが、これはスマートフォン、SNSの普及に伴い、イベント参加者全員がメディアとなり、プロモーションの一端を担う時代になったことを物語っています。ソーシャルによって、メディアとユーザーにおいても受け手と送り手が近づいてきたということです。

さらに、無料通話アプリのプロフィールに音楽をつけるなど、「聴く音楽」とは一線を画すスタイルも生まれているほか、日本のみならず、海を越え、ゲーム音楽をオーケストラが演奏するゲーム音楽コンサートが開催されるなど音楽の楽しみ方が多様化しています。

こうした異業種の協業・融合が活発化

代表取締役社長  
**平澤 創**



し、組み合わせ要素が複雑に絡み合うほどに、音楽を取り巻く環境は混沌としており、今後、加速的に新領域に移行していくことになるでしょう。

## マッチングによる化学反応の誘発と 海外市場の早期立ち上げに注力

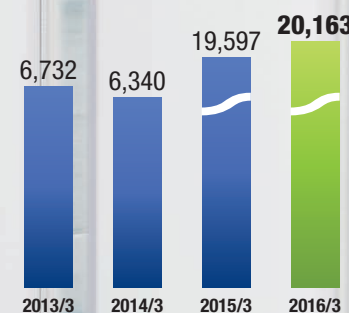
2016年は、総称すれば「マッチング」がキーワードです。グループ各社、サービスごとに対処すべき課題は多岐にわたりますが、事業戦略としては、デジタルとアナログの融合をはじめ、情報発信する人と受け取る人をいかにマッチングさせるかが軸となります。

現在、東京オリンピック開催に向け、観光立国として娯楽施設を活性化させる意図もあり、風営法および消防法改正の準備が進んでいます。飲食の場も含め、音楽を介するエンターテインメントシーンに大きな変化が見込まれるこの時期に、グループ内の様々な機能・コンテンツ同

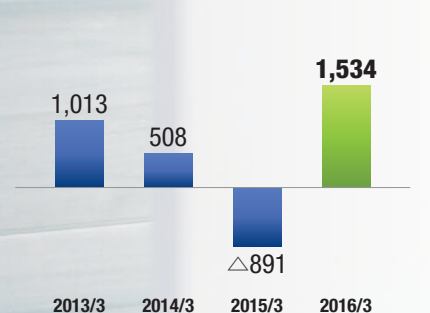
士による新たな化学反応を生じさせることはもちろん、協業・融合の動きを拡大させる異業種間マッチングの役割を果たしながら、さらに大きな化学反応を誘発し、新サービス、新市場の創出を狙っていきます。

また、総合店舗ソリューション「FaRao PRO」は、海外での事業展開として、フランスでビジネスをスタートします。フランスでは、IT推進都市French Techに指定されたアンジェ市の協力のもと、まずは市役所やホール等の市営・公共施設に「FaRaoPRO」でのBGM提供を図ります。フランスは店内の滞留時間と楽曲の相関性など、科学的根拠に基づくBGMサービスの利用が進んでおり、ここに当社の店舗ソリューション機能をいかに連携させて展開していくかがキーポイントになります。一方、東南アジアなどのブルーオーシャンとなる地域も視野に入れ、現地調査を進めながら新たな市場開拓を進めていきます。

## 連結売上高 (単位:百万円)



## 連結営業利益 (単位:百万円)



## 「音楽」にフォーカスした 切り口から可能性を拡大

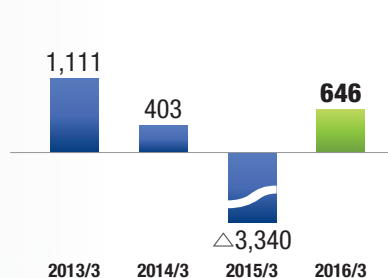
「Fans」は、音楽業界の慣習としてレコード会社を通さなければ音楽を発信できない仕組みから、アーティストがファンに向けてダイレクトに発信できる仕組みに変えて行くために開発したプラットフォームです。しかし、現在は音楽以外のコンテンツ発信者と受け手を繋ぐ様々な場面で需要が喚起され、さらなる可能性を拡大させています。そうして利用シーンがあらゆる方向に派生的に広がっていくことは、プラットフォームビジネスの面白さの1つではありますが、初めから何でもできると謳うサービスは、逆に

ユーザーにとっては何をしたら良いのかわからないものです。当社グループでは引き続き、「音楽」にフォーカスした尖った切り口でサービスを具現化しながら、ロングセラーとなるプラットフォーム、新たな市場を創り続けていきます。

現在、市場は混沌としており、大きく揺れ動く中、確実に変化しつつあります。依然、夜明け前ではありますが、どの辺りから日が昇るのか、その見込みの精度が高まってきており、非常に面白みを感じています。株主の皆様におかれましては、フェイス・グループの使命である市場創出にご期待いただくとともに、引き続き長期的視点でご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 夜明け前の混沌が深まる中、新たな価値創造、 市場創出の兆しが見えつつある

## 親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位:百万円)



## 特別企画「樋口社外取締役インタビュー」

音楽を核とするコンテンツ資産を生かしながらデジタル時代に  
ふさわしいビジネスモデル作りをスピーディかつしつらみなく進められる  
稀有な存在だからこそ有する、大いなる可能性に期待。

2007年より、フェイス・グループの経営にチェック&バランスを効かせている樋口泰行社外取締役  
(日本マイクロソフト株式会社代表執行役会長)にフェイス・グループのこれからに対する期待を聞いた。

### Q フェイスに対して、どのようなイメージをお持ちですか。

フェイスは、「着メロ」というそれまでなかった、まったく新しいアイデアを形にし、市場を作り上げた実績のある会社であり、新しいこと、面白いことをやろうというチャレンジ精神、ベンチャー精神がDNAにある会社です。2017年10月には、設立25周年を迎えますが、そうしたマインドが社内に行き渡っており、依然として若い、気概のある会社、という印象を強く持っています。

私が社外取締役に就任した2007年当時は、様々なことに手をつけようとする傾向が強かった印象がありますが、近年は、「音楽」にしっかりと焦点を合わせて、リソースを集中させるようになってきています。リソースには限りがあり、すべて

のアイデアに着手することは現実的ではありませんから、リスクと機会、費用対効果などを検討し、優先順位を付けることは、経営上、非常に重要です。そうしたところを経営者と一緒に見ていくということもベンチャー要素をふんだんに有する会社における社外取締役の仕事のひとつだと考えています。良いものを追求するばかりでなく、世の中が求めるものを供給していくという感覚も大事だと考えており、そのあたりを見ていくことも私の役目の1つであると認識しています。

### Q フェイス・グループの強みは、どんなところにあるとお考えですか。

朝起きた瞬間から夜寝る瞬間まで、スマートフォンやタブレットなどを体の一部のように使う時代、供給される製品や

サービスそのものもデジタル化され、インターネットを通じてディストリビュートされています。世の中全体でデジタル化が加速する中、デジタル配信型のビジネスモデルでの実績を企業カルチャーの礎とするフェイスは、デジタル時代の音楽ビジネスを創出するにふさわしい企業であることに間違いありません。

これは、音楽だけでなく、テクノロジーの世界にも言えることですが、デジタル化の波に逆らえないのは分かっている旧来のパッケージビジネスの縮小を加速させることになるため、なかなかアクセルを踏めないという企業が数多く存在する中、コンテンツ資産を生かしながらデジタル時代にふさわしいビジネスモデルを作ることを、しつらみなく進められる企業は非常に稀有な存在です。

しかも音楽を核としている企業として

は、日本で唯一の立ち位置ではないでしょうか。確かに音楽におけるマネタイズは大変チャレンジングな取り組みにはなりますが、それを実現させることのできる企業ではないかと思っています。

この非常にいい立ち位置にいることを生かし、サブスクリプション時代にふさわしい戦略を、スピード感を持って実行

#### 樋口泰行 (ひぐち・やすゆき)

1957年兵庫県生まれ。80年大阪大学工学部電子工学科卒業。同年松下電器産業(現パナソニック)入社。91年ハーバード大学経営大学院(MBA)卒業。92年ポストンコンサルティンググループ入社。94年アップルコンピュータ入社。97年コンパックコンピュータ入社。2002年日本ビューレット・パッカード(日本HP)との合併に伴い、日本HP執行役員インダストリースタンダードサーバ統括本部長。03年同社代表取締役社長就任。05年ダイエー代表取締役社長就任。07年3月マイクロソフト代表執行役兼COO、08年4月同社代表取締役社長就任。2011年2月日本マイクロソフトに社名変更。2015年7月より日本マイクロソフト代表執行役会長。

日本マイクロソフト株式会社  
代表執行役会長

## 樋口泰行



し、一点突破してほしいと願っています。  
もうひとつ、世の中の動きとして、ユーザー同士がダイレクトに繋がるシェアリングエコノミーが様々な業界で誕生している中、これまで作り上げてきたパーツひとつひとつが、点から線、そして面へと展開が広がり、音楽周りにおけるシェアリングエコノミーを形成しつつあります。このパーツとこのパーツが繋がって、こんなサービスになるんだ、こんな付加価値を生むんだ、と、次々に顕在化し、見える景色がどんどん変わっている段階です。今後は、この変わっていく景色を見ながら、必要な時には方向を修正したり、戦略を変えたり、俊敏に動きながら、ここだ！というタイミングで思い切った一手を打つことになってくるでしょう。

### Q さらに企業価値の向上を果たすには、どんな課題があると思われますか。

やはりアイデアを孵化させ、新規ビジネスとして展開させるには、かなりのプロジェクト管理能力、立ち上げ能力が必要であり、それをやり遂げる人材が不可欠です。アイデアと人材がセットにならないと、ビジネスはいつまでたっても立ち上がりません。ですから、そうした人材をどれだけ開発できるか、それが大きな課題のひとつになると思います。

また、良いものを作るばかりでなく、世の中に求められている形にしていくこと

も必要です。特に日本コロムビアには、素晴らしい音源がたくさんありますが、今の時代、その資産を価値転換していくマインドが重要です。フェイスと化学反応を起こすことで、あるいは、化学反応を起こせる人材をより惹きつけることで、新たな価値を生み出していく、そこに新しい投資機会があると思います。

### Q 最後に社会に必要とされる企業像という視点から、フェイスに期待することをお伺いできますか。

「この曲で自分は勇気付けられた」「この曲に助けられた」といった経験を持つ人は多いのではないのでしょうか。そうした感動体験を提供できる製品は、実のところそう多くはありません。音楽には元気や勇気、楽しさを与える力があり、それは社会に必要とされ続けるものだと思います。

そうした感動を与えられる機会に携わる企業として、社会全体がデジタル化していく中で、新しい音楽のあり方を考えること、それが社会から必要とされる役割ではないかと考えます。

現在は、いかなる世界においてもテクノロジーが新しい付加価値を創造していますが、それは従来のやり方が変わるということを意味します。様々なテクノロジーから様々なデータがデジタル化され、音楽自体もすべてデジタル化している今、



単にネット社会ということだけでなく、翻訳機能やロボティクス、人工知能などもそうですが、アーティフィシャル(人工的)なもの的人格みたいなものと、人に感動を与える、人を元気にするといった要素がある音楽がどう結びついていくか、そこに非常に興味を持っています。

それは、単なるゲーミングの世界ではなく、もっとヒューマンタッチな、感動を与えるような何らかの形を求めることができるはずであり、フェイスは、デジタルリテラシーが非常に高い会社として、そうした結び目を作り、他には真似のできない新しい価値を生み出すことができると期待しています。

ライブ動画サービス「VIDEO Clipper」を提供開始

VIDEO Clipper

世界中のライブを体験!



コンサートなどのイベントで、複数のユーザーが様々な場所からアプリ内カメラで撮影、リアルタイムで複数の映像を生配信できるサービス「VIDEO Clipper」の提供を開始しました。さらに視聴者側は、カメラマンとして参加したユーザーが撮影した世界中のイベント映像を好みのアングルから視聴し、コメントを投稿することができます。

本サービス開始時には、国内外で活躍するアーティスト、クラムボンのライブツアー「clammbon 2016 mini album 会場限定販売ツアー」とのコラボレーションを実施しました。

フランス現地法人「Faith France, SAS」を設立



新会社の概要	
社名	Faith France, SAS (フェイス フランス)
資本構成	株式会社フェイス 100%
事業内容	デジタルサービスを通じた音楽コンテンツ配信・音楽サービス提供

当社は、ヨーロッパへの音楽サービス提供を目指し、フランスのIT推進都市 French Techに選定されているアンジェ市に現地法人「Faith France, SAS」を設立しました。

当社はアンジェ市と連携するにあたり、市施設、老人ホーム等にFaRao PROを導入することを予定しており、今後は公共施設に加えて、フランス国内の飲食店などで、BGMを含む店舗ソリューション事業を展開してまいります。

また、東南アジア地区への現地法人設立も予定しており、引き続きグローバルなプラットフォーム展開に注力してまいります。

FOCUS

担当者インタビュー → ファンとアーティストのつながりをより深めるサービスとプラットフォームを目指して



Fans'

第二企画営業本部 本部長

吉村 昌哲

Fans'はアーティスト活動をサポートする仕組みとして、フェイス・グループ内外のアーティストからご好評いただいております。音楽の受け入れられ方が変化し、アーティストがどのようなサービスを使い、何を販売して収益をあげるのかは、その環境に合うベストな方法を選択できる時代となっています。そのような時代に、アーティストからもファンからもFans'を選んでいただけるよう、利便性や機能向上を追求しています。

今後は、個人で活動しているアーティストにもFans'を使うことで、ファンを増やしていただけるような仕組みづくりに加え、ファンが年会費を支払うことで、ライブの優先参加やストリーミングでの楽曲聴き放題などの会員特典サービスを拡充し、アーティストの安定した収益を確保しつつ、ファンとアーティストのつながりをより深めるサービスとプラットフォームづくりに取り組んでいきたいと考えています。

担当者インタビュー → 個人・単店経営の店舗へのFaRao PRO導入も視野に営業活動を推進



FaRao PRO

上席執行役員 第一企画営業本部 本部長

殿村 裕誠

当社はブランド力を持つ大手チェーン店に次々と正式採用をいただき、導入企業数を伸ばすことができたことに、大きな手応えを感じております。

実際に採用いただいた企業様からは、クリアなデジタル音質や、店舗ブランドや時間帯・客層に合わせた多彩な提供チャンネルだけでなく、店舗向けの各種ソリューション機能や設置の簡易性などについてもご好評いただいております。特に大手チェーンの店舗網に対してインフォメーション放送を柔軟且つ自在に設定いただける一括集中管理機能については、店内販促を重視されている企業様に注目をいただいております。

今後は、引き続き販促・店舗運営を支援する各種機能の強化を行いながら、採用いただいた大手チェーン全店舗へ円滑に導入するだけでなく、さらに個人・単店経営の店舗への営業活動を強化してまいります。

COMPANY OVERVIEW

会社概要

株式会社フェイス	(2016年3月31日現在)
事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証1部(証券コード4295)
従業員数	146名(連結372名)

取締役および監査役	(2016年6月29日現在)
代表取締役社長	平澤 創
取締役	矢崎 一臣
取締役	佐伯 次郎
取締役	佐伯 浩二
社外取締役	樋口 泰行
常勤監査役	土屋 文男
社外監査役	清水 章
社外監査役	菅谷 貴子

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者	(2016年4月1日現在)
島田 精一	元住宅金融支援機構 理事長/日本ユニシス株式会社 特別顧問 スルガ銀行株式会社 社外監査役 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員/学校法人津田塾大学 理事長 国立大学法人千葉大学経営協議会 委員・学長選考委員 学校法人根津育英会 評議員/武蔵学園後援会 副会長 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 公益財団法人日伊協会 副会長/日本ヴェルディ協会 理事/東京二期会 理事
野中 隆史	みずほ信託銀行株式会社 常任顧問
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士/日本ローエイシア友好協会 常務理事 内閣府・公益認定等委員会 委員/みずほグループ各社 監査役 在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役 国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会 委員 サハリンLNGサービス株式会社 監査役 公益財団法人国連大学協力会 監事 公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事
村瀬 清司	元社会保険庁 長官/企業年金連合会 理事長 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 非常勤顧問

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



※本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの日本またはその他の国における商標または登録商標です。